

介護保険準備基金の活用で保険料の引下げを!!

寒川町の高齢者数はH26年度は11,407人と推計。ひとり暮らしの高齢者、H22年999人と増え続けています。介護サービスを受けながら、安心して住み続けられる事業計画について、質問しました。



3年間の介護保険料はいくらか？ 町は、4,699円と試算。

国は、介護報酬改定も含み、現在全国月額平均4,160円が5,000円を超えると試算。町は、現在平均月額4,070円が4,699円になると試算しています。この3年間で町の剰余金は（介護保険準備基金）2億8,000万円。

これを投入して保険料の引き下げを求めました。町は2億1,500万円を投入すると、**4,126円**になると試算。また、国は高くなる保険料の引下げに、県の財政安定化基金の取り崩しを求めています。これが実現するとさらに50円ぐらい引き下げることが出来ます。高い保険料の引下げに繋がります

特別養護老人ホーム待機者解消に向けて、H26年40床増を計画に盛り込む

寒川町の特養待機者は10/1日で55人います。この解消が急がれます。

出来るだけ在宅でと願いがありますが、施設の要望は、ニーズ調査でも22.4%います。今後高齢者も増加し、南部地域への基盤整備も求めました。

第5次計画では、施設はできませんが、ベッド数40床増となりました。

保険料・利用料の減免制度の創設については、考えていないとの答弁。

「コミュニティバスのあり方検討委員会」が発足されます。

公募委員2名意見の反映を！
いろいろな角度から意見を述べ、反映をすることで多くの人々が利用しやすいコミュニティバス運行に繋がります。
積極的な意見を町に届けてください。



来年度も「いのち」まもる施策展開を!!

日本の自殺者数は年間3万人を超え、尊い命が失われており、引き続き「心の電話相談」の活用や、地域の絆作りの施策展開を求めました。

一般質問

3つのポイント
気づき つなぎ 見守り



高齢者対策は

Q 高齢者はうつ病にかかりやすく、また気づかれにくい。

さらに認知症とも間違われやすい。早く気づき専門家に相談することが必要ではないか。

A 町の高齢者対応は地域包括支援センターの保健師が、70歳以上の一人暮らしを対象に、順次全戸訪問を実施。心配事など専門職が相談に対応している。

子ども対策は

Q 子どもの行動には心の問題が隠れていることが多く、うつ病やうつ状態は、大人たちが気づいて上げられないことが多く悪化するといえます。

A 町の考え（教育長）

学校での自殺防止対策について学校教育の大命題は生きる力の育成であり、生きる力の育成の取り組みそのものが、自殺防止対策に繋がります。

個別のケアとしてスクールカウンセラー、巡回相談員、心理相談員で対応して、悩みなどに応じている。

仙台市名取川(逆流)河口付近 11月中旬

4階まで海水が来て、多くの命が失われた小学校。

外見からは想像が付きませんがこの集落は学校以外は全て流されていました。

田んぼには、流された船がいくつもあり、地盤沈下は1.5m復興は当分期待できないとのこと。

